紙器・印刷版

企業訪問

No.244

ペーパープレミアムジャパン㈱

東京都江戸川区

●住所　東京都江戸川区松島3―43―3―502、TEL03―3651―2191●設立　09年1月7日●業務内容　ギフトボックス及びペーパーバッグ生産販売、ユーザーブランドの委託生産（OEM）、期間限定の小ロット生産（FOD）。

良質なパッケージで恩返し

〝心と心をつなぐパッケージング作りで世界中の「人」、「文化」の絆をつなげて行きたい〟

ペーパープレミアムジャパン㈱の経営理念だ。ワインボックス、化粧品、高級菓子など各種ギフトボックスやペーパーバッグを中心に、国内の顧客から注文を受け、中国・広州の大型工場で生産する体制をとる。

このように聞けば一見、「大量注文・大量生産」のイメージが浮かぶが、同社を1人で切り盛りする徐世傑（チー・ジィーキィアット）代表取締役社長が、小口注文から、顧客ひとり、ひとりと顔をつき合わせ、求めるパッケージを提供する姿勢は、まさに経営理念を体現している。

徐社長はマレーシア出身の華僑。97年、政府派遣で来日し、国立高等専門学校に入学。卒業後は東京大学工学部に編入し、03年に同大学院精密機械工学科を卒業と異色の経歴を持つ。

大学院卒業後は、金融業界への就職など、起業以外の選択肢も考えていたというが、学生時代に展示会での通訳のアルバイトを通じて知り合った中国パッケージメーカーの商談を任されたことがきっかけとなり、以後、個人事業主として活動してきた。

当初は「ここまで真剣に取り組むつもりはなかった」とのことだが、事業は順調に拡大し、一昨年暮れに大口の仕事が入ったことが契機となり法人化した。

サンプルを持参して顧客の元を訪れる商談スタイルは、ひとりでやっているからこそのきめ細かさ、妥協のなさがある。商品を前に「これに合うパッケージを」という顧客の要望を受ける形で、一緒に悩み、考える。「本音で意見を言い合うことで、時にはぶつかることもあるが、誠実に伝えることが大切。互いに納得するものを作るために徹底的に話し合う」。

そんな徐社長に共感してか、顧客は個人から大手企業まで幅広い。特に、まだ創業間もなく、軌道に乗る前の会社から注文が多いのも、その面倒見の良さを伝え聞いて連絡してくる顧客が多いからこそ。

品質面に関しても〝つなぎ役〟としての徐社長の存在が不可欠である。

「拡大鏡で見て発見するようなミスでも許さない」日本の品質要求が果たして妥当なのかはさておき、日本と中国では求める品質レベルに差があることは事実だ。

徐社長は顧客に対して「100％は無理です。99％も求めないでほしい。ただ、80％の製品はできる」と説明し、実際には90％以上の製品を提供する。また、自信を持って提供できる能力がないと判断すれば、条件の良い仕事でも断る。

重要なことは品質に対する認識の違いを隠すことなく、事前にしっかり説明することで信頼関係を構築することだ。

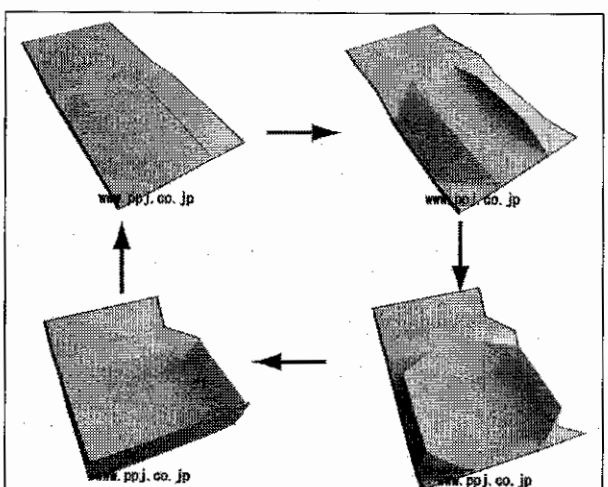
無論、品質をお座なりにしているわけではなく、あくまでも、妥協はしない。朝から晩まで、ひたすらパッケージの開け閉めを繰り返すこともしばしばで、温度、湿度、直射日光など、様々な条件下での試験も行う。

工学部出身とあって、構造設計にも明るく、美しさと合理性を兼ね合わせた新形状のパッケージの開発に注力する。オリジナル商品「フォルダブル・ボックス」＝写真＝は、開閉部に磁石を利用し、形状を工夫することで、ワンタッチでスムーズに折りたたみができるギフトボックスとして人気が高い。

「日本の職人の仕事は丁寧であるし、機能性も高い。ただ、従来にない、よりハイセンスなパッケージを提供したい」として、開発商品を増やしていく意向だ。

今後は、OEM分野を拡大させていくとともに、パッケージにとどまらず、将来的には雑貨などの販売にも取り組むことを計画している。

「お世話になった日本に恩返しがしたい。国と国との距離を縮めたい。国同士ではなく、ひとり、ひとりが繋がれば、争いも起こらない」とし「母国・マレーシアと日本を、世界中にいる華僑を結ぶ存在になりたい」と強く語ってくれた。



生産活動を
魅力ある
最新技術と
製品で
お手伝いします
有功社シトー貿易株式会社
www.yct.co.jp/

風装置を施し、強度生産管理を徹底。また、社内の印刷機械

ルに替わる以前の木箱など貴重な実物を展示した。軽量で省スペース化が図れる等の特長から、青果物用の梱包資材として普及していく過程を数々の資料とともに紹介している。

強度をPRするため段ボール箱に腰掛けた女性を描いたポスターやパンフレットを制作するなど、段ボール業界が普及促進のために努力した跡が見て取れる。

多様な段ボールを集めた展示では、実物を並べることで厚み等の違いを一目で確認できるようにした。アイデア段ボールとして、耐水や保冷、衝撃からいちごを守る「宙吊りトレイ」等をラインナップ。さらに、積層段ボールによるスクーターの梱包も実物を用いて紹介する。生活の中のあらゆる場面で活躍する身近な存在であると同時に、リサイクル率90％以上を誇る環境に優しい製品でもあるとアピールしている。

会場内には、段ボール製のアート作品も数多く設置。段ボールアーティストの檜山永治氏が手掛けた遊具は実際に使用できる。夏休み中に館内で購買可能な、テープ状の